

令和3年度 事業方針

昨年度は新型コロナウイルスによって、1年前には想定していなかった日常となりました。鈴蘭台荘でも3密を防ぎ、消毒等の感染防止対策に努めました。今年度も引き続き感染防止に努め、利用者及び職員の体調管理や、消毒・換気等を行っていきます。面会や外出も制限される中ですが、ご利用者に少しでも楽しみを見出してもらえよう取り組んでいきます。

また、コロナ禍にあって社会経済情勢も厳しさを増しており、社会福祉施設、とりわけ養護老人ホームを取り巻く環境も変化しています。時代に沿った法人及び施設運営ができるよう、引き続き取り組んでいきます。

コロナ禍にあって入所に向けて積極的に取り組んでいますが、退所者等も多く、引き続き厳しい経営状況にあります。利用率の増加を目指し、ご利用者の健康維持と各方面への働きかけを強化していきます。当荘に入所された方々にここへ来て良かったと思っただけのよう、設備の充実と、様々な職種が連携し、ご利用者の変化への早めの気づきとその対応を行っていきます。全職員が笑顔を忘れず、ぬくもりのあるホームでありたいと願っており、ご利用者の人権を尊重し、法令遵守・虐待防止を心がけます。

また、長年職員の平均勤続年数の長さ・定着率の良さを誇りとしてきましたが、それに伴って、職員の平均年齢が高くなっています。コロナによる離職者も多い社会情勢の中、今後を見据えた職員採用について引き続き検討していきます。

別館は立地条件から現状での耐震補強工事は難しいため、コロナ禍ですが中期計画として建替え工事を検討し、計画の立案に向けて引き続き取り組んでいきます。

ここ数年財政的にも厳しい状況が予想されますが、より良いサービスの提供と、働きやすい職場をめざして検討を重ね、最善を尽くしていきます。

重点事項は次のとおりです。

1. 人権尊重と生活支援のスキルアップ

○法令遵守、権利擁護、拘束廃止等の職員研修を行い、職員に周知徹底していきます。ご利用者同士も良好な関係で共生されるよう、支援を行います。

○ADL低下の軽減を目標とし、残存機能を活かしながら自分らしく日常生活が送れるよう情報を共有し、また、ケアプランに沿って、その方にふさわしい援助、サービス提供を行います。

○ご利用者は大切な地域の一員であり、その地域で充実した生活が送れるよう、医療・行政・公的機関と連携していきます。

2. 地域貢献

社会福祉法人の地域貢献が求められる中、コロナ禍で引き続き活動が限定されることも予想されますが、以下のような取組みを中心に地域貢献に努めます。

○北区社会福祉法人連絡協議会

「ほっとかへんネット Kobe 北」の一員として、高齢・障害・児童・保育等の社会福祉法人の種別の垣根を超えて、地域社会への貢献をめざして協力していきます。

○すずらん会

鈴蘭台駅に近い社会福祉法人 8 施設で「すずらん会」を立ち上げており、引き続き地元の民児協等とも連携を図りながら、地域の福祉と社会貢献活動を模索・実行していきます。

○地域ケア会議

高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住居・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの小部地域での構築を目指す「地域ケア会議」の一員として地域の各機関と協力して取り組んでいきます。

○北区福祉教育プロジェクト

平成 29 年度に北区福祉教育プロジェクトが発足し、そのメンバーとして、希望される学校の中学 1 年生を対象に、高齢者についての説明と体験教育の場を持ち、高齢者への関わり方等を学んでもらう取組みを引き続き行っていきます。